

各教育委員会教育長 殿
各 学 校（ 園 ）長 殿
関 係 各 位

平成28年10月3日

武蔵村山市教育委員会教育長 持田 浩志
武蔵村山市立第三小学校長 前川 潤

平成27・28年度
武蔵村山市教育委員会指定
「特色ある学校づくり推進校」

平成27・28・29年度 文部科学省指定「英語教育強化地域拠点事業」

平成25年度 東京都教育委員会指定
「スポーツ教育推進校」

平成26年度 東京都教育委員会指定
「オリンピック教育推進校」

平成27・28年度 東京都教育委員会指定
「オリンピック・パラリンピック教育推進校」

平成27年度 東京都教育委員会指定
「コーディネーショントレーニング実践開発校」

平成28年度 東京都教育委員会指定
「コーディネーショントレーニング地域拠点校」

平成28年度「オリンピック・パラリンピック教育重点校」
【豊かな国際感覚の醸成】

研究主題

「人との関わりを大切に、豊かに表現できる児童の育成」
「グローバル人材育成に向けたオリンピック・パラリンピック教育の充実」

～富士の見える丘の上の学舎～

武蔵村山市立第三小学校 研究発表会の御案内（最終案内）



日時 平成28年10月28日（金）



◆公開授業（午後1時45分より）

◆研究発表会

◆講演「進化カマネージメント」

講師 帝京大学ラグビー部監督
岩出 雅之先生

午後1時20分	午後1時45分	午後2時35分	午後2時45分	午後3時30分	午後4時30分
受付	公開授業	移動	研究発表・指導講評	講演会	謝辞

TEL: 042-561-1753

FAX: 042-563-9327

URL: <http://www.city.musashimurayama.lg.jp/school/mmcd3s/index.html>

ADD: 〒208-0001

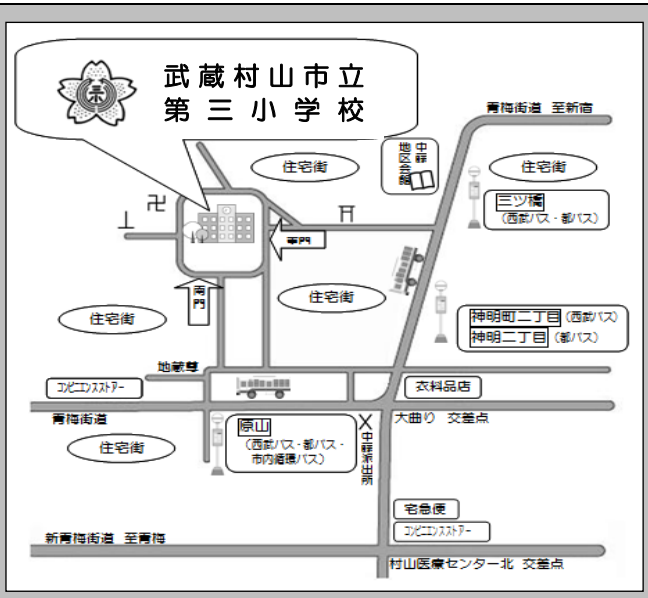
東京都武蔵村山市中藤1丁目 36 番地の 1

【多摩モノレール】
上北台駅より市内循環バス
「市民総合体育館行」（約10分）
→ 原山下車

【JR 中央線】
立川駅北口より西武バス
「イオンモール行」（約25分）
→ 三ツ橋、神明二丁目下車

【西武拝島線】
東大和市駅北口より都バス
「青梅車庫」「箱根ヶ崎行」（約15分）
→ 三ツ橋、神明二丁目下車

徒歩8分（登り坂）



公開授業（5時間目） ◎・・・ICT（電子黒板、タブレット、実物投影機等）活用学級

学年	学級 担任名	教科	教材名・単元名	オリパラ教育・英語拠点事業との関連・位置づけ	
1	◎1 脇坂 ひとみ	国語	「ほんはともだち むかしばなしが いっぱい」	文化 ×学ぶ	◇既存の単元を他教科と関連付けて展開する。 ◇国語のねらいの達成と共に、オリパラ教育の視点を育む。
	◎2 菅沼 亜紀				
	3 野村 美里				
2	◎1 風間 綾乃（図工）	図画工作	「ようこそ♪ シルエット ミュージアムへ!」	スポーツ ×学ぶ	◇既存の学習の題材や手法による授業ではあるが、素材をオリンピック・パラリンピックと関連させる。 ◇オリンピック・パラリンピック精神と日常の授業をつなぐ学習として展開する。
	2 森田 由紀				
	◎3 影浦 知枝				
3	◎1 北原 彰	道徳	「ワンダフル・ヒトミ 人見絹枝」 勤勉・粘り強さ	スポーツ ×学ぶ	◇都の実践事例集を活用し、オリンピック・パラリンピック大会に挑むアスリートの生き方を通して、その精神を学ばせる。 ◇オリジナルのアレンジを加え、より深く道徳的価値をとらえさせることをねらう。
	◎2 岩渕 祐美 高橋ちなつ(中学校英語科)	外国語活動	「ハロインパーティー をしよう!」	文化 ×学ぶ	◇表現力、コミュニケーション力を育む。 ◇日本との違いや共通点を通して学ばせ、オリンピック・パラリンピック教育の視点と、三小での英語科実践に基づく中学年における展開例を提案する。
	◎3 野中 哲平	道徳	「たまちゃん 大好き」 友情・信頼	精神 ×学ぶ	◇オリンピック・パラリンピック大会やアスリートを直接扱わない既存の道徳資料を活用し、道徳的価値とオリンピック・パラリンピック精神を関連付ける。 ◇より深く道徳的価値をとらえさせることをねらう。
4	◎1 宗像かおり	道徳	「きっとできる」 不とう不屈・努力 （※高橋尚子）	精神 ×学ぶ	◇既存の道徳資料を活用し、映像教材やオリンピック・パラリンピック大会に挑むアスリートの生き方を通して、その精神や価値を学ばせる。
	2 児玉 千恵（音楽）	音楽	「日本のリズム ・世界のリズム」	文化 ×学ぶ・する	◇自分の体を動かしてリズムを感じ取り、グループで協力して表現の工夫を考え、演奏する学習を行う。 ◇専科の学習の特性を生かしつつ、オリンピック・パラリンピック教育の価値を関連付ける。
5	◎1 神近 正浩	算数	「その差は何m」 （トピック）	スポーツ ×学ぶ	◇既習事項を活用し、生活と学習を関連付ける。 ◇学習の素材としてオリンピック・パラリンピックを活用する。（物理等にもつながる小学校段階での布石としての可能性も提案する。）
	◎少数 立山 道子				
	◎2 松元 晃 モリオカ ひとみ （英語活動支援員）	英語	「ランチメニューを つくろう」 「What would you like?」	文化 ×学ぶ	◇オリンピック・パラリンピック教育の視点を取り入れ、他教科との関連で文化の多様性への気付きを育む。 ◇既習を活用し、英語表現力やコミュニケーション力を育む三小での英語科実践に基づいて展開する。
	◎3 愛田 奈美 Jessica Rowberry （ALT）				
6	◎1 寿田 牧子	総合	「おもてなし ～日本が世界に誇る 伝統文化～」	文化 ×学ぶ	◇既習事項や学習体験をおもてなしの心を軸に関連付けて学習計画を立て、伝統文化のよさを学ばせる。 ◇思考ツールを活用した主体的な学びをねらう。
	◎2 阿南 晃介				
	3 河上 卓	英語	「What time do you get up? 一日の生活を 紹介しよう」	文化 ×学ぶ	◇日本語との違い、言葉の面白さや豊かさ気付かせながら英語力を育む。 ◇豊かな国際感覚を身に付けさせるとともに、本校での高学年英語科の学習スタイルを提案する。